

市長から 市民のみなさんへ 36



山陽小野田市長 白井 博文

ごみ減量にご協力いただき ありがとうございました

9月からはじまった環境衛生センターのごみ焼却炉の大規模改修にあわせ「ごみ非常事態宣言」を発令し、生ごみ以外のごみの排出をできるだけ控えてもらうようお願いしたところです。おかげさまで、工事も無事終了し、通常の焼却能力も回復し、従来通りの排出が可能となりました。市民のみなさんには、ご不自由をおかけしたことをおわびするとともに、ごみ減量のご協力をいただいたことに感謝します。

後日談になりますが、先日、環境課の職員から非常事態宣言の期間中のごみの排出量が通常の半分だったという報告を受け、一人ひとりの市民のみなさんが市からのお願いにこたえてくれたことに感激しているところです。

今後も、「ワンポイントアドバイス」「さわやかなまちづくり」など広報紙を利用した啓発活動などを行っていき、生活に密着した“ごみ”の問題に積極的に取り組んでいきたいと考えています。

歳入確保を目的に

市所有の土地の売却をおこないます

前ページにありますように、市所有の土地について、売り払いを行います。これまでも随時、行ってきたことではありますが、今回はこれを皮切りに来年、再来年に向け、本格的に市有地の売却に乗り出します。もちろん、その目的は市の苦しい“台所事情”をやりくりしていくための自主財源の確保にあります。来年度の予算編成を行うにあたり、国の地方財政計画が示されていない現時点ではどれほど苦しいものになるのか、その正確なところは数字で示せないのですが、相当厳しい事態になることは覚悟しているところです。対策として、必要不可欠な事業以外は行わないなど、

歳出を抑えるだけでなく、封筒や公用車への広告掲載に代表されるように“売れるものは何でも売る”といったなりふりかまわない姿勢で歳入を増やす努力をはじめなければならないことは言うまでもありません。

市有地の売却について、関心のある方はぜひ、担当部署にお問い合わせください。

糸根川の整備計画の協議がはじまりました

10月13日、埴生公民館で「糸根川 川づくり検討委員会」が開催されました。これは、糸根川の河川整備計画を策定するにあたり、学識経験者や地域の人の意見を探り入れ、「治水」「利水」「環境」という三点の調和を図りながら川づくりをすすめていくために設置された委員会です。

当日、私も同席させていただきましたが、地域の方にとっては人命と財産に関わる重要な案件であることは、たくさんの方が傍聴にいらしていたことからうかがえました。旧山陽町時代に高潮被害をもたらした糸根川に対策が講じられ、流域にお住まいの方が安心して暮らすことができる日が一日も早く訪れることが市長としての念願でもありましたので、まだまだ完工は先のことでありますが、今回、計画が始動したことにしましてはたいへんうれしく思っているところです。

うれしいことといえば、8月の長州産業株式会社につき、株式会社オーネックスの新山野井工業団地への進出が決まりました。企業の進出は、固定資産税の増収、雇用の拡大といった数字ではかれるものだけでなく、まちに活力をもたらす、地域経済の発展をもたらすなど目に見えない大きな効果があります。今後も、県と連携をとりながら市内への企業誘致の施策に意欲的に取り組んでいくつもりです。



対話の日

11月 8日(水) 山野井公会堂
11月22日(水) JA後淵出張所
12月14日(木) 鴨庄東自治会館
12月27日(水) 横土手自治会館
※19:00から 1時間30分程度です